

平成 30 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア III・准教授
氏名 Name	長崎広子
専門分野 Academic Field	中世ヒンディー文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	古ヒンディー文学と詩論書の研究
<ol style="list-style-type: none">1. 研究代表者として取り組んでいる科研費補助金による研究「ヒンディー詩論書の形成と発展」の計画に基づき、初期ヒンディーの詩論書、特にスックデーオ・ミシュラの写本から起こしたテキストに英訳を付けた。2. インドで現地調査を行い、ウダイプルの Rajasthan Vidyapith Sahitya Sansthan にスックデーオ・ミシュラのこれまで収集したものとは異なる系統の写本が所蔵されていることを発見し、閲覧した。3. ワルシャワ大学で開催された 13th International Conference on Early Modern Literature in North India で“The Rhythm of Early Hindi Poetry as Reflected in the Piṅgala Literature”と題して発表した。4. 共同研究員として取り組んでいる AA 研主催の研究課題「近世南アジアの文化と社会：文学・宗教テキストの通言語的比較分析」の研究会で「15-6 世紀のヒンディー・バクティ文学の思想と時代」の題で発表した。5. クロスアポイントメント制度でワルシャワ大学 Alexandra Turek 博士を招聘し、「ヒンディー語方言と文学」の共同研究を行い、成果公開のセミナーを開催した。6. シカゴ大学のデリーセンターで The Historical development of Hindi metrical rhythm の題で講演した。7. 中世ヒンディー語詩人カビール研究者 Jaroslav Strnad 博士 (The Czech Academy of Sciences, Oriental Institute Department of South Asia) を講師に招聘し、学内および学外の研究者が参加する古ヒンディー語のカビール詩を講読する研究会を開催した。8. 『印度民俗研究』第 18 号で論文「太鼓と女は叩くべしー『ラームチャリットマーナス』の女性観一」を発表した。また同研究誌の編集および刊行を行った。9. McGill 大学の Prashant Keshavmurthy 博士を迎え、「南アジアとペルシア文学」のセミナーを開催した。	